町制施行1周年を迎えて

横越町長　浅見良一

今月で町制施行一周年を迎えましたが、振り返ってみると、大変忙しく、めまぐるしい一年でした。横越が村から町になったことで周辺市町村から大きくたこの五年間の横越の産業、経済、住民の意識が大きく変わったことを実感しています。

町制施行後一年間の変化をよく聞かれますが、昨年と今年であまり変化はないにしても、五年前に町にすることを宣言して以来、期待され、今後の横越町の果たす役割の大きさを実感しました。

これからの町の将来展望については、これまでの反省の上に立ち、住民の皆さんの意見や要望を踏まえながら、特定の人の町ではなく、一人ひとりみんなの町という自覚と認識を持って取り組んでいきます。

多くの問題が山積するなか、少子高齢化社会を迎え、お年寄りが安心して老後を暮らせるような環境作りが急務です。このために周辺市町村の協力を得ながら、焼山地区に福祉ゾーンを設置し、一日も早い全施設の完成を目指しています。

また、新潟都市圏の中核をなす横越町は、今後どういう役割を果たすべきかを考え、周辺市町村との連携を図りながら、広域的視点に立った町づくりが大切です。後世に財政負担を残さないためにも、上下水道や廃棄物処理等については、広域的な行政展開で効率的に処理して健全財政を堅持する必要があります。

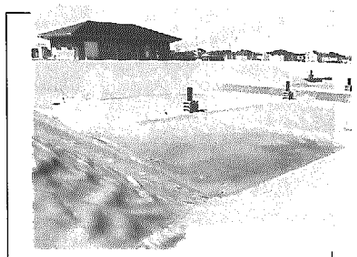
今後も一層町民の皆様からご支援、ご協力を賜りながら、町の発展と住民の幸せのために全力を挙げ取り組んでまいります。

平成8年11月

平成8年11月1日、町制が施行され、新生横越町がスタート。総合体育館では町制施行記念式典が行われ、横越町誕生を祝いました。県内57番目の町になりました。

平成9年3月

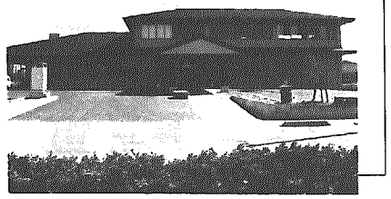
11月9日、横越中学校の体育館で「創立50周年記念式典」が開催されました。



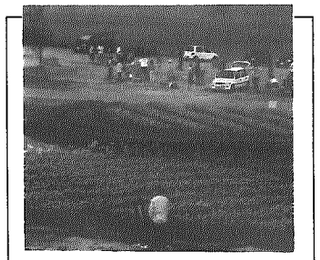
平成9年3月、藤山・駒込地区に一般廃棄物最終処分場が完成。また、4月には亀田町に広域清掃組合の焼却場も完成しました。

4月

4月1日、町民の健康づくりと在宅介護サービスの拠点として、保健センター及び在宅介護支援センターが、役場に隣接してオープンしました。



5月



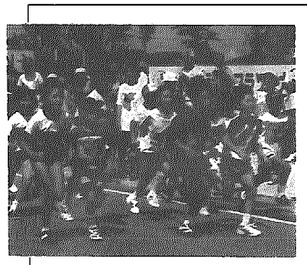
4月29日、沢海に阿賀野川床固め公園が開園し、同園でチューリップ Tulip'97 が開催され、多くの人で賑わいました。

5月31日、総合体育館で、町制施行を記念して宇宙飛行士秋山豊寛さんの講演会が開催されました。

町制施行1周年

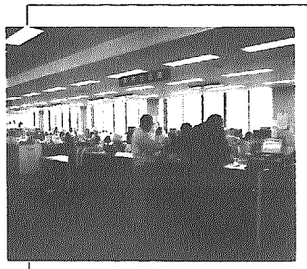
昨年11月1日に村から町に変わり、今月で1周年を迎えました。この1年間の町の主な出来事をまとめてみました。この1年、みなさんにとって町になった“よこごし”をどのように感じましたか。

6月



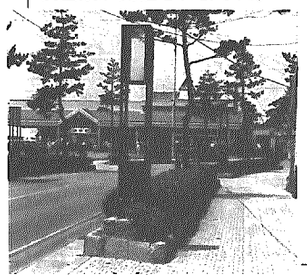
6月22日、町制施行を記念してマラソン大会と健康ウォークが開催され、町内外合わせて750人が参加しました。

7月



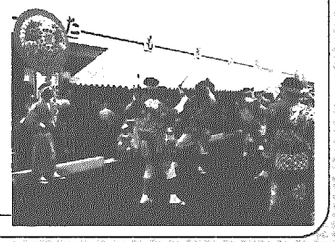
7月1日、役場では町民へのサービスの向上のため、機構改革が行われました。

国道49号歩道完成と「横雲通り」の名称が決定したのを記念して、7月20日、Aコープ駐車場などで横雲祭が開催されました。

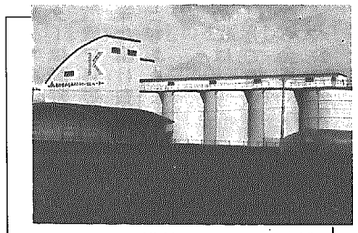


地域発展へのかけ橋として待たれていた大阿賀橋が、着工以来15年の歳月をかけて完成し、7月16日、開通しました。

7月12日、地元観光特産品の販売拠点として、北方文化博物館わきに「たもぎの里」（横越町観光特産品組合）がオープンしました。



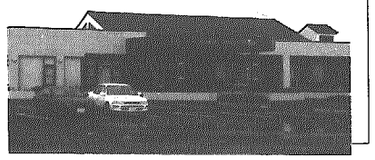
8月



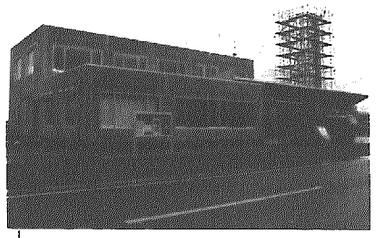
8月28日、横越町における農業経営の安定や生産コストの削減を目指して、小杉地区にJAカントリーエレベーターが完成しました。

9月

9月5日、医療と介護の両サービスが受けられる施設として、焼山地区にマチュアハウス横越（新潟慈生会）がオープンしました。



10月



10月1日、町の消防の拠点として、総合体育館に隣接して亀田町消防署横越町分署が業務を開始しました。